

クラック 擦り込み処理 施工手順

■ 施工方法

(箒目の場合)

1 施工前

施工前の状態



2 補修材状態

リペレジを固めに練る。
(パサパサ状になるように)
*柔らかい状態だとシミのよう
になるので注意しましょう。



3 擦り込み処理

リペレジを適量指先に取り、
クラック部分に擦り込んでいく。
*必ず素手で擦り込みましょう。
*クラックに対して垂直に塗り
込むと上手く埋まります。



4 削り

リペレジを埋め終わったら、
ワイヤーブラシ（ステンレ
ス）等で余分なリペレジを取り
除きます。



5 乾燥

リペレジを乾かします。



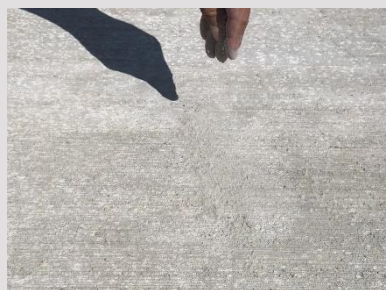
6 仕上げ(1)

左官ブラシを使って削りカス
を補修箇所を馴染ませるよう
に掃いていきます。
*クラックが消えれば完了です。
*消えていない場合は7へ。



7 仕上げ(2)

リペレジを粉末状態でクラッ
クに沿って振りかけていきま
す。



8 仕上げ(3)

左官ブラシを使って振りかけ
たリペレジを補修箇所を馴染
ませるように擦り込んでいき、
クラックが消えれば完了です。
*消えない場合は、7から繰り
返します。



9 完了

施工後の状態



準備する物

- 練り用金コテ
- ボウル
- ウエス
- ガストーチ
- ワイヤブラシ（真鍮）
- 左官ブラシ

準備する材料

- リペレジ
- 水

■ 施工の注意点

- リペレジシリーズはプレミックスタイプの補修材です。水だけで練って下さい。強度を増すために接着剤等を混入した場合、硬化時間・色が設定と異なる場合がありますのでご注意下さい。
- 水で練り混ぜた物は残さず全部使用して下さい。**硬化が始まってからの再加水・練り返しはしないで下さい。**クラック・接着不良の原因となります。
- セメント系ですので、風化・吸湿性があります。保存には充分注意しなるべく早めにご使用下さい。（5kg内袋は、保存性を良くするためヒートシールしてあります。さらに、輪ゴムが袋に入っていますので、使い残した物の封にご利用下さい。）
- 段差の無いクラックへの擦り込みのみの処理になりますので段差がある場合や止水する場合は、予め止水処理を行うか別項目にあるVカット処理を参考にしてください。